

世界の吊具
イーグル・クランプ株式会社

本社 / 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2番3号(久野野木ビル)
(貿易部) ☎(06)6762-0341(代) FAX(06)6768-5718(代)
e-mail: (本社) eagle @ eaglegclamp.co.jp
(営業本部) ayo-m @ eaglegclamp.co.jp

東京支店 / 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川12-2-2(日光ビル)
☎(045)491-5355(代) FAX(045)491-9833
e-mail: m-inno @ eaglegclamp.co.jp

仙台営業所 / 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目27番地の3
☎(022)254-5161(代) FAX(022)254-5163
e-mail: s-shibuya @ eaglegclamp.co.jp

北関東営業所 / 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1402(九合ビル)
☎(0276)46-7331(代) FAX(0276)46-7004
e-mail: n-hirata @ eaglegclamp.co.jp

千葉営業所 / 〒290-0056 千葉県市原市五井1205-1
☎(0436)23-4811(代) FAX(0436)23-4812
e-mail: f-gasaki @ eaglegclamp.co.jp

名古屋営業所 / 〒450-0082 名古屋市熱田区大塚1丁目5-17
☎(052)671-4137(代) FAX(052)671-5730
e-mail: m-umoto @ eaglegclamp.co.jp

大阪営業所 / 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2番3号(久野野木ビル)
☎(06)6762-2081(代) FAX(06)6768-8275
e-mail: y-nishitama @ eaglegclamp.co.jp

北陸営業所 / 〒921-8011 金沢市入江3丁目132番地(福村ビル)
☎(076)291-2026(代) FAX(076)291-2027
e-mail: h-araki @ eaglegclamp.co.jp

岡山営業所 / 〒700-0886 岡山市新堀町3丁目5番21号
☎(086)246-1451(代) FAX(086)246-8351
e-mail: y-fujioka @ eaglegclamp.co.jp

広島営業所 / 〒733-0803 広島市西区草津南3丁目7番9号
☎(082)279-6600(代) FAX(082)501-2566
e-mail: s-mori @ eaglegclamp.co.jp

小倉営業所 / 〒802-0064 北九州市小倉北区片野3丁目4番14号(勝之ビル)
☎(093)921-1286(代) FAX(093)922-4379
e-mail: t-wakasa @ eaglegclamp.co.jp

長崎営業所 / 〒852-8106 長崎市若川町13番3号
☎(095)844-9876(代) FAX(095)846-2251
e-mail: j-kinoshita @ eaglegclamp.co.jp

奈良工場 / 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
☎(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-1839
e-mail: h-ueda @ eaglegclamp.co.jp

技術部 / 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
☎(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-0572
e-mail: t-kawashima @ eaglegclamp.co.jp

ユーザー新製品・仕様・定価表等についてのお問い合わせは、

☎ 0120-119-080

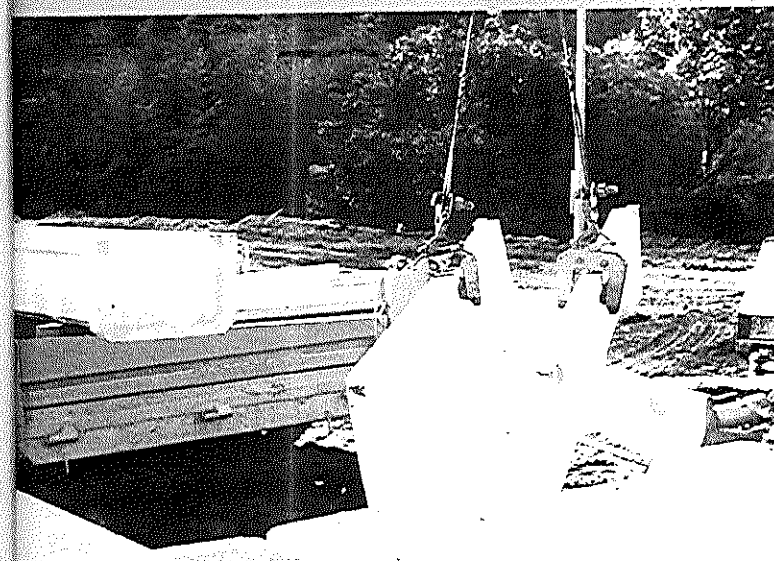
http://www.eaglegclamp.co.jp

イーグル・クランプ

コンクリート製品用 クランプ

取扱説明書

ご使用前に必ずご一読下さい



ISO-9001

A.C.NO.YKA 0200132

for Manufacture, Maintenance and Management



イーグル・クランプ株式会社

M-Fa-07

この度「イーグルクランプ コンクリート 二次製品用
クランプ」をお買上げ頂き、誠に有難うございます。
この製品は十分な強度と安全性を考慮し、安全規則に準
拠した安全率を以って製作致しておりますが、引張り、
吊揚げ、運搬等重要な用途に使用されますので、この説
明書をよくお読み頂き、正しい使用方法で安全にお使い
下さいますようお願い申し上げます。

弊社はつり具の専門メーカーとしてご使用中のクランプ
の保安全管理に留意し、巡回サービスによる定期点検、及
び不良品の交換等、安全対策に万全を期しております。
しかし何分にも多方面にわたりご使用頂いておりますの
で、訪問点検は、緊急の場合を除き、当社の計画予定サ
イクルで実施させて頂いております。

つきましては、現在貴社にてご使用中のクランプ及び、
つり具について、メーカーを問わず労働安全衛生規則に
則った自主点検を実施して頂きまして、つり具による事
故の絶無にご配慮下さいますようお願い致します。

なお、イーグル・クランプの点検に付きましては、後記
の点検基準表をご参照の上、不良品は使用禁止とし、部
品交換、又は修理の処置をお願い致します。

修理不能品は誤使用に因る事故を防止するため廃棄処分
として下さい。

交換部品、修理品、点検サービスのご用命、製品等につ
いてのご意見は、イーグル・クランプ取扱店、及び最寄
の弊社営業所にて承っておりますので、お気軽にご相談
下さい。

■保証期間

製品保証書に記載

▲WARNING

▲警告

1. 表示容量の厳守。
規定容量(基本使用荷重、開口)以内で使用する事。
2. 一点つり厳禁、二点つり以上厳守。
3. 始業点検の厳守。
点検シールの点検月を確認する事。
4. 差込み深さの厳守。※1
鋼板又はつり荷は開口部一杯まで差し込む事。
5. 安全ロック使用の厳守。
ロック式クランプは安全ロックを閉じて使用する事。
6. 締め付けトルクの厳守。※2
螺式クランプの締めネジは規定以上の強さで締め付
ける事。
7. 頭上作業、運搬の厳禁。
人の頭上をつり荷を通過させたり、頭上でクランプ
作業をしてはならない。
8. 落下転倒範囲内立入り厳禁。
引き起こし、反転、着床時、つり荷の転倒、落下範
囲内に立ち入らない事。
9. 整備不良、未点検クランプの使用厳禁。
カム、旋回あご、締めネジの歯の摩耗、脱落、損傷
したクランプは使用しない事。
10. 重ねつり厳禁。
一度に2枚以上の鋼板をつる事は出来ない。
11. 偏心つり厳禁。
クランプは、つり荷の重心が中心に来る位置にバラ
ンス良く取り付ける事。
12. 衝撃荷重厳禁。
つり上げ運搬時の衝撃荷重に注意してクレーンを操
作する事。

クランプによる事故の主な原因

- ① 1点吊
- ② 整備不良クランプの使用
(摩耗・変形・作動不良・脱落等)
- ③ 操作方法の誤り
(取付け、操作手順)
- ④ 吊揚後の吊荷の状況判断の誤り等
(危険予知能力の不足)
(玉掛知識、経験の不足)
(偏荷重による吊荷の傾き)
- ⑤ 機種選定の誤り
- ⑥ クレーン操作の誤り
- ⑦ 仕様範囲外(板厚、重量)の使用
- ⑧ 無理な使用方法によるもの

落下転倒範囲内の作業

— 目 次 —

■イーグル・クランプの管理について	2
■各機種共通の注意事項	3～6
■各機種共通の点検事項	7～9
■各機種の仕様・使用方法 使用上の注意事項	10～76
•ECC型(U字溝吊揚用)	10～15
•ECH型(U字溝吊揚用)	16～21
•CCV型(大型ブロック吊揚用)	22～26
•EUI C型(道路側溝内吊用)	27～31
•EFG型(支柱基礎ブロック用)	32～36
•EC型(パネル用)	37～42
•ECA型(パネル用)	43～48
•UGH型(長手方向吊揚用)	49～54
•UGM型(長手方向吊揚用)	55～60
•ELC型(道路側溝用)	61～66
•ELU型(道路側溝用)	67～71
•EKB型(間知ブロック用)	72～76

1. イーグル・クランプの 管理について

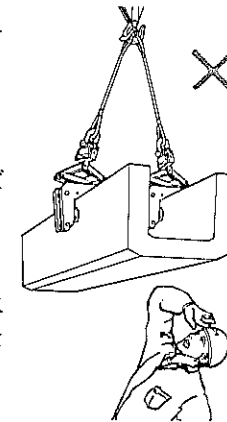
1. 保管場所は必ず屋内とし屋外に放置してはいけません。
2. 毎週一回は保管責任者に於いて別に定められた点検基準に依り点検をする。尚2ヵ月～3ヵ月に一回は必ずメーカーの点検を受けて下さい。
3. 点検に依り溶接部の亀裂、其の他摩耗、等の損傷が発見されたものは例え小さなものでも直ちに使用を中止して下さい。
(イ)作動状態 (ロ)歯板・ウス・ゴムパッドの摩耗
(ハ)開口部の開き
4. 使用を中止したクランプは別に保管し現場に放置してはいけません。
5. 保管前に必ず、クランプを点検し、泥を落とし注油をお願いします。
6. 点検表は必ず点検日毎に記録して下さい。
7. 本体、部品共特殊鋼を使用してありますので溶接等の熱を加えないで下さい。

2. 各機種共通の注意事項

- (1)吊荷の下には、絶対に入らないで下さい。(図1)

- (2)クランプに表示の安全荷重以内でご使用下さい。(オーバーロード厳禁)

- (3)吊り上げ物の形状・寸法・重量をよく確認し、適応機種を選定して下さい。

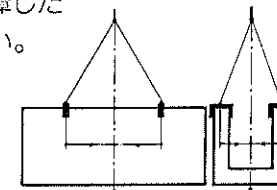


落下・転倒の範囲
内立入り禁止。
(図1)

- (4)確実な重心の割り出し。(図2)

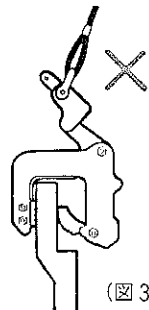
- (5)歯板・ウス・ゴムパッドが摩耗すると滑ります。早目、早目に交換して下さい。

- (6)変形、損傷、作動不良等、故障したクランプは使用しないで下さい。

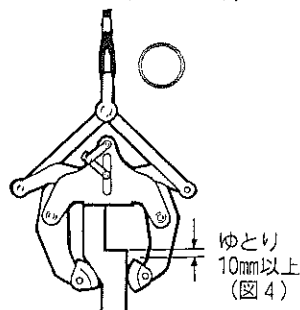


(図2)

(7)蓋掛け式U字溝や溜槽を吊る場合、上部の肉厚の薄い箇所を吊ると割れる事があり危険です。(図3、4)



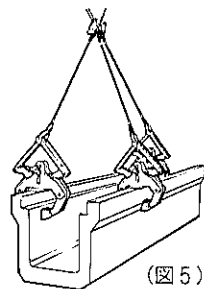
(図3)



ゆとり
10mm以上
(図4)

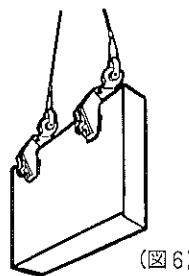
(8)原則として2点吊以上を厳守して下さい。

①U字溝を吊る場合は、3台以上のクランプを使用3、4点吊の励行(図5)



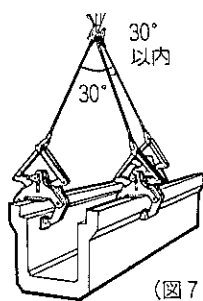
(図5)

②パネル状の製品は、2台以上のクランプを使用(2点吊以上)(図6)

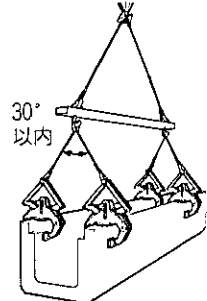


(図6)

(9)2台以上で吊る場合は、上部吊角度30°以内、又は、天秤を使用して下さい。(図7)



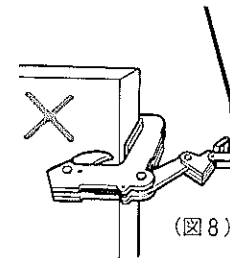
(図7)



30°
以内

●クランプ1台に玉掛ワイヤーを1本取付けて下さい。

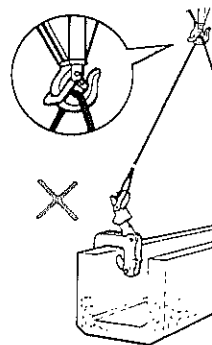
(10) (図8) のような端方向からの吊り方は出来ません。



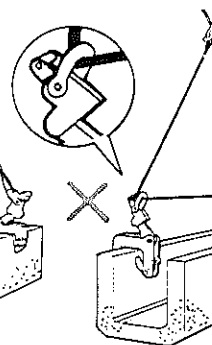
(図8)

(11)1本のワイヤーの両端にクランプを取り付けたり、(図9)。2台のクランプを1本のワイヤーで絞って吊らない。(図10)

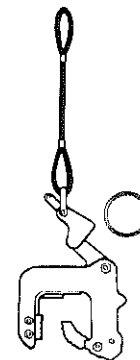
※クランプ1台に玉掛用ワイヤーを1本取り付けて下さい。(図11)



(図9)



(図10)

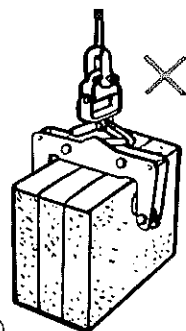


(図11)

(12)埋めてある製品を掘起こす時は、重量以外の荷重が掛かりますので充分注意して下さい。

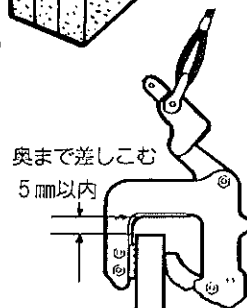
(13)養生中のコンクリートは割れ易いので危険です。

- (14) 2枚以上の重ね吊りはできません。
(図12)



(図12)

- (15) 吊荷を必ずクランプ開口部の奥まで差し込み、吊り揚げ時滑っていないか確認して下さい。(図13)



(図13)

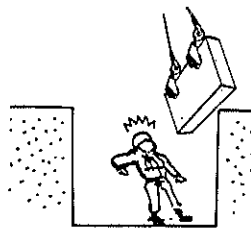
- (16) 吊り揚げ運搬中、吊荷を他の物に当てないで下さい。

- (17) 着床時、吊荷を不安定な状態で着床しないで下さい。(図14)

- (18) クランプは必ず使用前点検をして下さい。変形・摩耗、作動不良を起こしていないか。

- (19) 使用後も点検の上、泥落とし等の掃除をし、注油して下さい。

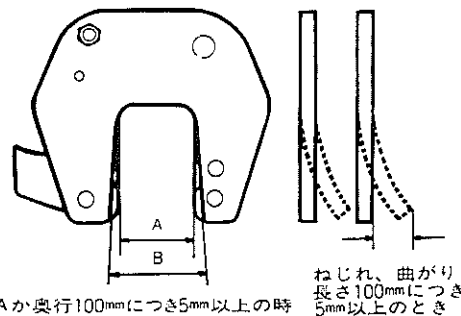
- (20) クランプに異常を感じた場合は、ただちに使用を停止し、使用禁止の処置をした上で、メーカーの点検を受けて下さい。



(図14)

3. 各機種共通の点検事項

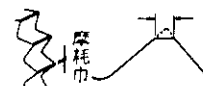
1 本体



- 溶接部にキレツのあるもの、本体の変形したものは使用できません。
- 開口部が上図の状態のときは使用できません。

2 歯板(カム)の使用限度

- 摩耗巾 2mm



これ以上に摩耗した場合はすぐに歯板を新品と取換えて下さい。

- 歯コボレ

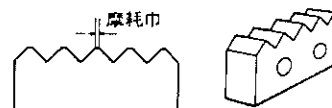
1ヶ所まで

2ヶ所以上は取換えます。



3 ウス

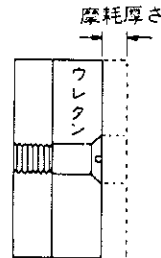
- 摩耗巾 2mm



- 歯コボレ 1ヶ所まで 2ヶ所以上は取換えます。

4 ウレタンパッド

- 摩耗厚さ
止めビスの頭が表面に出たとき
- めくれたもの

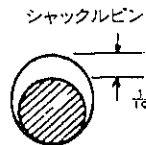


5 アーム・リンク の使用限度

- 曲り、ねじれた限度が長さ100mmにつき5mm以上あるもの

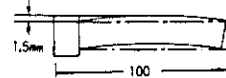
6 ピン穴の変形と摩耗限度

- 1/10以上あるもの



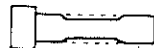
7 各ピン・ボルト類

- 曲り限度 100mmにつき1.5mm



長さ100mmにつき曲り1.5mm以内

- 摩耗限度 ピン径の1/20



(ノギスで点検して下さい)

- ナットの脱落 ※各ピン、ボルト共特殊鋼を使用しています。純正部品をご用命下さい。

8 安全ラッチ・開放装置等

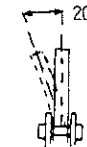
- イ) ラッチの動きをスムーズにして下さい。
- ロ) スプリングの伸びは新品寸法の10%以下が望ましい。又ねじれ、わん曲したものは交換して下さい。
- ハ) ラッチとクランプ本体の取付穴及びボルトが摩耗すると安全ロックの効果が半減しますので、早目に修理して下さい。
- ニ) 開放装置がこわれると、本体の作動不良を起こすことがありますので、ご注意下さい。

9 スプリング

- イ) 新品寸法の10%以上伸びたもの。
- ロ) 切れたもの。 ハ) 折れ曲ったもの。

10 吊環

曲ったものは交換して下さい。



11 ロールピン

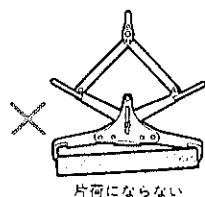
ロールピン(割ピン代用品)が不完全なものは直ぐ取替えて下さい。上記の項目に照らして不適格なものは取替え或は修理完了迄使用を禁止して下さい。

12 注油 箇所について

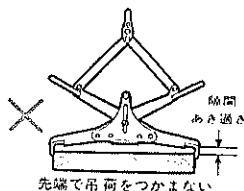
クランプを安全且つ長期間使用するためには次の要領に依り注油して下さい。

- 1) まず、クランプについた泥を落して下さい。
- 2) 各ピン・ボルト類の回転、スライドする部分及び穴、溝。
- 3) スプリングは錆びて折れたり、伸び易くなります。常に全体に油が付いている状態にして下さい。

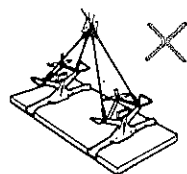
- クランプを吊荷の中央に正確にセットし、図の様な吊り方は厳禁。



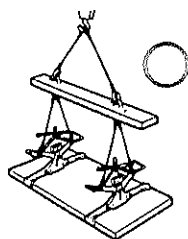
- オーバーロード等により、爪の開いたものは使用しない。



- 2台以上で1つの品物を吊る場合、必ず天秤を使用。

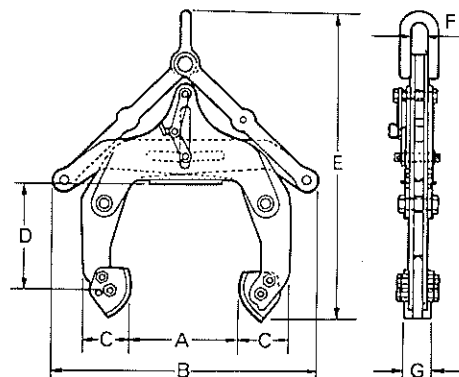


- 一旦着地したものを再吊揚げする場合は、クランプ取り付けに充分注意すること。



- 着地時、不安定な場所に降さない事。

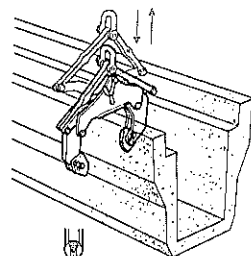
1. 仕様・寸法



型 式	揚 量 (kg)	開口部 A	寸 法(mm)						重 量 (kg)
			B	C	D	E	F	G	
E L C-0.5	500	30~130	400	80	170	450	33	70	10(1台)
E L C-0.5	500	50~150	400	80	170	450	33	70	10(1台)
E L C-1	1,000	60~160	420	90	180	480	33	70	19(1台)

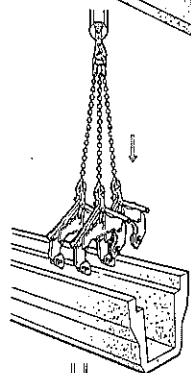
(B) 取 付

開放装置を効かせた状態で吊荷に上からクランプをセットする
クランプの取付状態を確認→



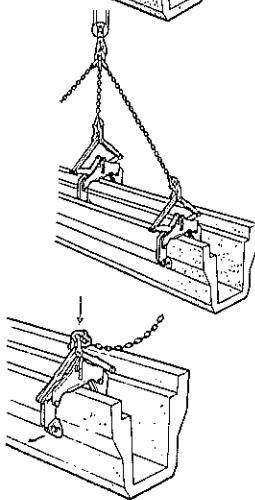
(C) 吊 揚

クレーンを巻き上げ、吊環に荷重が掛かった時点でいったん停止→クランプの差し込み状態・ワイヤー(orチェン)の吊角度を確認→巻き上げ再開
*クランプに完全に荷重が掛かるまでの状態は危険なので注意



(D) 吊降ろし・取り外し

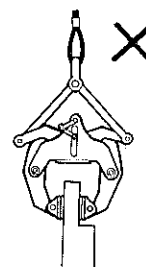
吊荷を静かに降ろす→吊荷が傾いたり、転倒しない事を確認→吊環に荷重がかからなくなるまでクレーンを巻降ろす→吊環部を押し下げ開口部を開く→開放装置をセットする→クレーンを巻き上げクランプを吊荷から外す



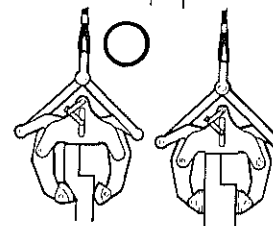
5. 使用上の注意事項

◎ 3 頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

- この構造のクランプは、引き起こし作業には使用しない。
(EC、ECA型を使用)

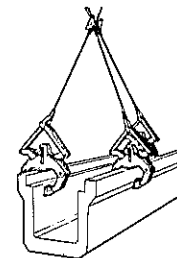


- 蓋掛式U字溝及びツバ付製品を吊る場合は、カム型押え金を使用し、段落し又は、ツバの下辺をクランプする様セットする。



- ストレート・テーパのあるコンクリート製品は吊れない。

- 長さ1メートル以上のU字溝は3点吊以上を厳守。



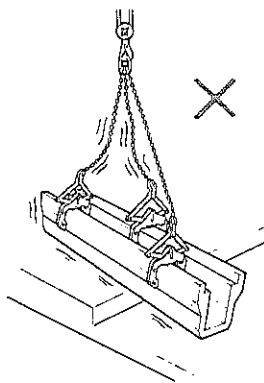
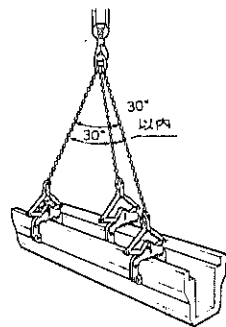
ELC

- 泥・油等の付着、水濡れは拭き取る。

- ワイヤ角度30度以内。

- 着地時、不安定な場所に降さない事。

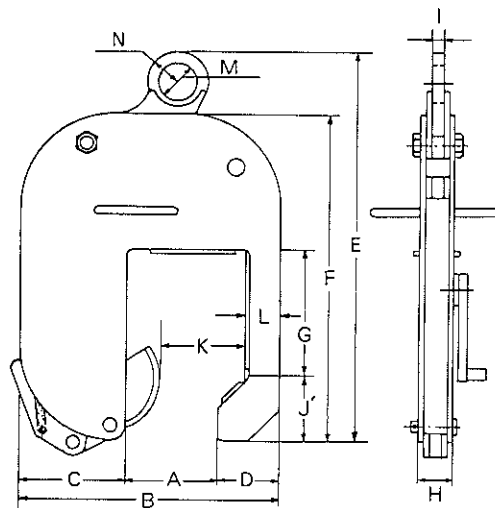
- 反転・引き起こし作業不可。



ELU型

道路側溝
反転・吊揚・運搬用

1. 仕様・寸法



型式	揚量 (kg)	開口部 (A)	寸法(mm)														重量 (kg)
			B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N		
ELU-0.5	500	80~120	340	140	80	535~610	430	165	44	16	85	115	45	50	40	19.4	